

# 糖尿病センター(糖尿病内科)



診療科長  
(外来部門)  
山田 和範

専門医資格等  
京都大学医学博士  
京都大学臨床教授  
専門分野  
糖尿病  
得意疾患  
糖尿病



診療科長  
(入院部門)  
河野 茂夫

専門医資格等  
日本糖尿病学会  
糖尿病専門医  
日本内分泌学会 内  
分泌代謝科専門医・指  
導医  
日本内科学会 認定  
内科医・総合内科専門  
医・指導医  
日本糖尿病学会 評  
議員  
京都大学医学博士  
京都大学臨床教授  
専門分野  
糖尿病  
得意疾患  
足病変



医長  
中川内 玲子

専門医資格等  
日本糖尿病学会  
糖尿病専門医  
日本内科学会 認定内  
科医・総合内科専門医  
専門分野  
糖尿病  
得意疾患  
足病変

## □ スタッフ

平成27年10月1日時点

	氏 名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 師	村田 敬	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門 医・指導医 日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医 東京大学医学博士	糖尿病	若年者糖尿病
医 師	小鳥 真司	日本糖尿病学会 糖尿病専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医 日本内科学会認定内科医 日本肥満学会 肥満症専門医 日本抗加齢医学会専門医 京都大学医学博士	糖尿病	糖尿病
医 師	岸 純一郎		糖尿病	糖尿病
専 修 医	水谷結香子	日本内科学会 認定内科医 日本抗加齢学会 専門医 日本医師会認定 産業医	糖尿病	糖尿病
専 修 医	渡邊 知一	日本内科学会 認定内科医	糖尿病	糖尿病
臨床研究 センター長	島津 章	日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指 導医 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 日本内科学会 総合内科専門医・指導医 京都大学医学博士 京都大学臨床教授	内分泌代謝疾患、 検査医学、神経内 分泌	内分泌代謝疾患、 検査医学、神経内 分泌
予防医学 研究室長	坂根 直樹	日本内科学会 認定医 日本肥満学会 評議員 京都府立医科大学医学博士	糖尿病	糖尿病教育

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
臨床代謝 栄養研究 室長	浅原 哲子	日本内科学会 認定内科医 日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医・評議員 日本心血管内分泌代謝学会 評議員 日本肥満学会 肥満症専門医・指導医・評議員 日本肥満症治療学会 評議員 日本動脈硬化学会 専門医・評議員 日本病態栄養学会 評議員 日本抗加齢医学会 認定専門医 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 京都大学医学博士 京都大学非常勤講師	糖尿病、肥満(メタボリックシンドローム)疾患、内分泌内科	糖尿病、肥満(メタボリックシンドローム)疾患、内分泌内科
非常勤医師	吉良 友里	日本糖尿病学会 糖尿病専門医 日本内科学会 認定内科医	糖尿病	糖尿病
非常勤医師	小谷 和彦	日本内科学会 総合内科専門医 日本臨床検査医学会 臨床検査専門医 日本動脈硬化学会 専門医 自治医科大学医学博士	糖尿病	脂質異常症、糖尿病

## □ 診療科の特徴

施設認定等	日本糖尿病学会認定教育施設 日本肥満学会認定専門病院
-------	-------------------------------

- 生活習慣病である糖尿病の治療には、患者さんご自身が自己管理能力を身につけることが大事です。当科では糖尿病教育、すなわち患者さんへの教育を実施すると同時に、患者さんに対する指導能力を高めた教育スタッフを育成し、より一層の治療実績アップに努めます
- 地域の糖尿病基幹病院としての責務を果たすべく、地域連携に努めます

## □ 主な対象疾患

2型糖尿病、耐糖能異常、1型糖尿病、肥満症、メタボリック症候群、糖尿病神経障害と糖尿病足病変、糖尿病腎症、糖尿病網膜症(眼科)、妊婦糖尿病、脂質異常症(高脂血症)、糖尿病性昏睡、重症低血糖

## □ 診療(業務)内容

糖尿病センターでは一般糖尿病外来および入院での診療に加えてさまざまな専門外来を開設し、さまざまなタイプの糖尿病および関連疾患およびそれらの合併症の充実した診療活動につながっている。

下記に専門外来の診療活動について紹介する。

- ・フットケア外来 毎週月曜日14時~/フットセンター外来 毎週火曜日14時~(2000年開設)フットケア外来では、主に糖尿病に由来する足病変に対応し、全国各地からの紹介患者を集めている。また、非糖尿病足病変患者に対する問い合わせも多く、難治性の足病変を扱う集学的な欧米型のフットセンターを目指している。フットセンター外来では初診は糖尿病センターで行い、一般診察をした上で、関係担当診療科へ紹介している。
- ・フットウェア外来(月2回:木曜日13時~16時 完全予約制)フットウェア外来では義肢装具士がオーストリア人の整形外科靴マイスター(Orthopedic Shoe Meister)と協力して、靴・装具の指導や調整にあたっている。
- ・1型糖尿病外来(2005年開設) 毎週火曜日9時~16時・金曜日9時~12時/インスリンポンプ外来(2010年開設) 毎週月曜日14時~16時

1型糖尿病はインスリン分泌の廃絶を特徴とする。生命維持のみならず慢性の合併症予防のためにはインスリンを上手に用いて平均血糖レベルや血糖値のバラツキをコントロールすることが重要である。1型糖尿病外来では、重症低血糖を起こすことなく平均血糖レベルを改善する方法(カーボカウント、修正インスリンなどによるインスリン自己注射)につき、医師・看護師・管理栄養士のチームがわかりやすく指導している。

インスリンポンプ療法 (CSII) はこのためのきわめて有効な血糖管理法である。2016年3月末の1型糖尿病外来通院患者数は約220名 (初診23名)、インスリンポンプ療法を行っている患者は74名 (新規導入8名) であった。このうち18名は持続血糖測定器 (CGM) とインスリンポンプが一体となったセンサー付インスリンポンプ (SAP) を使用している。

- ・肥満・メタボリックシンドローム外来(2001年開設) 毎週 月曜日・水曜日9時～14時  
肥満・メタボリックシンドローム外来では、医師・看護師・栄養士によるチーム医療をベースに、体重グラフや食事記録表を登載した当院独自の「ダイエットノート」を活用し、日本肥満学会が提唱する減量指導を行い、動脈硬化等の合併症も定期的に評価している。  
また、外来患者を中心に2006年よりメタボ会(患者会)を定期的開催。さらにメタボ通信、スマートランチ等をチーム医療で展開し、外来開設から現在まで延べ14,000人以上の患者治療を行ってきた。  
さらに、2014年11月にはスマートランチのレシピを家庭でも作りやすいように再編・監修した「京都医療センターメタボ外来の3か月で確実! やせるレシピ」、2015年元旦には「読むだけでやせる女医の言葉」を、そして2016年2月には「京都医療センターメタボ外来のやせる弁当と作りおき」をそれぞれセブン&アイ出版から発刊し、肥満・メタボ治療に様々な形で取り組んでいる。
- ・脂質異常症外来(2005年開設、2014年8月までは「高脂血症外来」) 毎週木曜日10時～13時、高脂血症療養指導外来(2006年開設) 毎週木曜日10時～13時。家族性コレステロール血症 (FH)、家族性複合型高脂血症 (FCHL) などの脂質異常症受診者を対象。FH診療認定施設 (2013年～: 日本動脈硬化学会)。頸動脈や特殊検査による動脈硬化リスク評価を行い、管理目標値を設定。スタチン副作用例への対応なども行っている。症例数604例 (2005年11月～2015年3月) 内訳: 家族性高コレステロール血症 (101例)、高LDL-コレステロール血症 (370例)、高トリグリセライド血症 (263例)、高LDL-コレステロール血症+高トリグリセライド血症 (151例)、低HDL-コレステロール血症 (45例)。
- ・妊娠糖尿病外来(2007年3月開設) 第2,4火曜及び毎週金曜日13時～15時 妊娠糖尿病は妊娠中に初めて発見された軽度の(糖尿病には至っていないレベルの) 耐糖能異常で巨大児その他の周産期合併症の原因となる。また出産後の糖尿病発症リスクが増大する。妊娠前に糖尿病を発症した場合、糖尿病合併妊娠となり、胎児奇形が大きな問題となり、妊娠前血糖管理が重要となる。2015年度当外来を受診した新規患者数は108名であった。
- ・糖尿病血管合併症外来 毎週金曜日13時～16時 糖尿病血管合併症外来では、糖尿病血管合併症のスクリーニングを行い、他科との緊密な連携によって治療にあたっている。特に、閉塞性動脈硬化症などの合併症に加え腎機能障害を有する糖尿病患者の短期入院で、外来での施行が困難な造影剤による画像検査を施行し、定期的なスクリーニング・治療への展開も検討している。
- ・糖尿病透析予防指導外来 (2012年10月開設) 糖尿病腎症2期以上の患者を対象とし、医師、看護師、管理栄養士が連携して自己管理指導を行う。2014年度当外来を受診した受診者数はのべ70名であった。毎週月、水、木曜日に1名ずつの予約枠となっていて、現在3回シリーズとして指導を実施している。  
さらに、糖尿病センターではコメディカルスタッフによる指導として一般糖尿病食事指導(管理栄養士) および糖尿病療養指導外来(インスリン自己注射、血糖自己測定、フットケア指導など: 看護師) を開設している。また、自己管理(療養) を患者に指導する医療スタッフである糖尿病療養指導士(CDEJ)は、当院内で看護部、薬剤科、栄養科、検査科などに多数を擁し、綿密な糖尿病セルフケアを支援している。

## □ 診療実績(平成27年度)

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
16名	345名	17日

### 外来患者数

1日平均患者数
103名

主な手術・検査の件数など

CGM(連続皮下ブドウ糖測定)	CAVI/ABI測定	CT(内臓脂肪面積測定)
29件	288件	62件

□ 地域医療連携・広報活動

- ・糖尿病センターだより(糖尿病センター広報誌):2008年4月に糖尿病センター創立40周年を記念して発刊された患者向け広報誌。2016年3月現在、季刊発行となっていて通巻35号を数えている。糖尿病センターおよび関連診療科、伏見医師会の医師、看護師、栄養士、薬剤師、臨床検査技師等が分担して執筆。毎号4000部を通院患者と糖尿病センター関連医療施設に配送付している。全号を京都医療センターHP上で閲覧できる。
- ・糖友会(患者会):日本糖尿病協会傘下の糖尿病患者会として昭和36年に発足した。初代会長は大村春男氏(後に日本糖尿病協会会長)、現会長は藤井弘氏である。2015年度総会は2015年10月17日に伏見の清和荘で開催された。24名の参加者が松花堂弁当を楽しみながら当院栄養管理室副室長による食事療法の学習を行った。
- ・糖尿病市民公開講座「第30回DM京都」なぜ、糖尿病を治療しないといけないのか 2015年6月27日 参加者 約100名  
特別講演 「なぜ、糖尿病を治療しないといけないのか？」  
講師:滋賀県立成人病センター 糖尿病・内分泌内科 科長 山本泰三  
講演 「糖尿病のお薬Q & A」 京都医療センター 薬剤科 横山 晋一郎  
講演 「糖尿病の食事って難しい?」～簡単にできるワンポイント!～ 京都医療センター 栄養管理室 繁井 三智子  
第16回 メタボリックシンドローム会 2016年3月19日 参加者70名
- ・特別講演「お手軽ダイエット法から肥満手術まで!」講師:滋賀医科大学 糖尿病内分泌内科講師 森野勝太郎先生・食事療法:「メタボ外来のやせる弁当と作り置き(第2弾)とっておき活用術」講師:京都医療センター 管理栄養室 副室長 上ノ町かおり先生・運動指導:「ちょっと一息!ストレッチ体操&メタボクイズ」講師:京都医療センター 2-8看護師の皆さん
- ・第12回 京都医療センター 1型糖尿病セミナー 「高齢1型糖尿病患者のマネジメント」2016年3月5日(土) 14:30-17:00、参加者 39名、 高齢糖尿病患者のサルコペニアと骨粗鬆症の問題につき、東京大学大学院医学系研究科加齢医学講座老年病学准教授の小川純人先生を招聘して研修会を開催。
- ・第24回 1型交流会 2015年11月8日 参加者 約50名。特別講演「1型糖尿病治療の進歩 自身の1型糖尿病歴30年を振り返る～リアルタイム持続血糖モニタリングを行いながら血糖値を管理する時代へ～」  
講師:大阪医療センター 加藤 研先生、特別講演「SAPでフルマラソンも走っています～メドトロニック グローバルヒーローを知ったきっかけ」 講師:愛生会山科病院 神内謙至先生。

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

区分	
国内学会	浅原哲子 生活習慣病の効果的な治療戦略-15年間の肥満外来チーム医療の実践- 第21回KYOTO METABOLIC FORUM 京都
研究会	浅原哲子 脂肪酸トータルマネジメント～EPAの多面的効果～ 第10回湖北脂肪酸研究会 滋賀
国内学会	浅原哲子 心血管病発症予防を目指した糖尿病の治療戦略 第50回糖尿病学の進歩 東京
国内学会	浅原哲子 ライフステージを考慮したチームで取り組む効果的な肥満症治療 第25回 臨床内分泌代謝Update Update-9 愛知
国内学会	山陰一、浅原哲子 うつ、服薬アドヒアランスと糖代謝のアセスメントを統合した糖尿病知育連携コホート研究 第25回 臨床内分泌代謝Update Update-9 愛知
研究会	浅原哲子 糖尿病・メタボリックシンドロームと腎障害 -合併症早期予防のための効果的な糖尿病地域連携を目指して- 伏見医師会ランチョンセミナー 京都
研究会	浅原哲子 脂肪酸トータルマネジメント～EPAの多面的効果～ 三重県エイコサノイド研究会 三重



研究会	浅原哲子 脂肪酸トータルマネジメント～EPAの多面的効果～ 第3回富山脂肪酸研究会 富山
研究会	浅原哲子 肥満症・メタボリックシンドロームにおける大豆たん白質・イソフラボン代謝産物・エクオール投与の血管病リスク軽減効果に関する研究 第18回 不二たん白質研究助成研究報告会 東京
研究会	浅原哲子 メタボリックシンドロームと腎障害 第3回北九州 腎とMetS研究会 福岡
研究会	浅原哲子 国立病院機構における糖尿病治療連携の試み マロニエ腎セミナー 栃木
研究会	浅原哲子 脂肪酸トータルマネジメント～EPAの多面的効果～ KCJL2015ランチョンセミナー 京都
研究会	浅原哲子 肥満における食欲調節機構の破綻と合併症予防-アディポサイトカインの役割・EPAの効果- 第68回日本栄養・食糧学会中部支部大会 静岡
研究会	浅原哲子 京都医療センターのチームで取り組む肥満症治療 第23回西日本肥満研究会 福岡
研究会	浅原哲子 糖尿病地域連携研究にメンタルヘルスを盛り込んだコホート研究計画 地域連携/パスの統合を目指す医療政策研究フォーラム (Karuzawa Forum) 長野
国内学会	浅原哲子 サルコペニア肥満とSite-specificサルコペニア 第33回日本肥満症治療学会学術集会 千葉
国内学会	浅原哲子 精神心理面の問題のため内科的に診ていかざるを得ない高度肥満症例 第33回日本肥満症治療学会学術集会 千葉
国内学会	増田慎也、田中将志、村中和哉、山陰一、島津章、浅原哲子 短時間のパルミチン酸負荷によるC2C12筋管細胞におけるケモカイン・CXCLの発現変化 第36回日本肥満学会 愛知
国内学会	山陰一、小島真司、小谷和彦、村中和哉、山田努、荒木里香、岡嶋泰一郎、大石まり子、島津章、浅原哲子 多施設共同肥満症コホートにおける心腎合併症早期評価系確立-5年間の心血管イベント発症追跡- 第36回日本肥満学会 愛知
国内学会	橋本貢士、小島真司、田上哲也、山陰一、村中和哉、田中将志、増田慎也、坊内良太郎、南勲、土屋恭一郎、吉本貴宣、河野茂夫、島津章、小川佳宏、浅原哲子 血中遊離サイロキシン値は肥満症減量治療の効果予測マーカーとなりうる 第36回日本肥満学会 愛知
国内学会	田中将志、増田慎也、村中和哉、山陰一、島津章、浅原哲子 肥満症では単球のGLP-1受容体を介したオートファジー誘導と泡沫化抑制が障害される 第36回日本肥満学会 愛知
国内学会	田中将志、増田慎也、村中和哉、山陰一、島津章、浅原哲子 GLP-1受容体作動薬によるオートファジー誘導を介した単球・マクロファージの泡沫化抑制作用 第20回アディポサイエンス・シンポジウム 大阪
国内学会	増田慎也、田中将志、村中和哉、山陰一、島津章、浅原哲子 パルミチン酸負荷によるC2C12筋管細胞のCXCケモカイン遺伝子発現変化の検討 第20回アディポサイエンス・シンポジウム 大阪
国内学会	浅原哲子、松尾禎之、田中将志、増田慎也、佐々木洋介、山陰一、村中和哉、猪飼伊和夫、畑啓昭、井上真由美、全泰和、島津章 内臓・皮下脂肪蓄積における線維化関連因子TSP-1の病態生理学的意義の検討 第33回内分泌代謝学サマースミナー 福岡
国内学会	田中将志、増田慎也、村中和哉、山陰一、島津章、浅原哲子 GLP-1受容体作動薬によるオートファジー誘導を介した単球マクロファージの泡沫化抑制・抗動脈硬化作用 第33回内分泌代謝学サマースミナー 福岡
国際学会	Satoh-Asahara N, Tanaka M, Matsuo Y, Muranaka K, Yamakage H, Shimatsu A. Attenuates the Oxidized-LDL-Induced FormCell Formation through Autophagy in Macrophages and Monocytes. ADA 75th scientific sessions, Boston
国内学会	浅原哲子、田中将志、松尾禎之、村中和哉、山陰一、小島真司、河野茂夫、島津章 GLP-1受容体作動薬によるマクロファージの泡沫化・炎症抑制効果-オートファジー誘導の関与 第15回抗加齢医学会総会 福岡
国内学会	浅原哲子、島津章、小川佳宏、長谷川浩二 肥満症・メタボリック症候群における単球機能に着目した動脈硬化早期診断パネルと心腎血管合併症予防法の構築-肥満症多施設共同研究- 第15回抗加齢医学会総会 福岡
国内学会	村田敬、河口八重子、吉岡ふみ、市岡利恵、岸純一郎、渡邊知一、水谷結香子、四枚田耕平、中谷理恵子、岡田浩、小島真司、中川内玲子、浅原哲子、河野茂夫、坂根直樹、山田和範 インスリンポンプ療法または頻回注射法を行っている1型糖尿病患者の粗死亡率(第一報) 第58回日本糖尿病学会年次学術集会 山口
国内学会	浅原哲子、田中将志、松尾禎之、村中和哉、山陰一、小島真司、河野茂夫、島津章 GLP-1受容体作動薬によるオートファジー誘導を介したマクロファージの泡沫化抑制作用 第58回日本糖尿病学会年次学術集会 山口
国内学会	松尾禎之、田中将志、佐々木洋介、山陰一、村中和哉、猪飼伊和夫、畑啓昭、島津章、井上真由美、全泰和、浅原哲子 肥満における内臓・皮下脂肪蓄積と線維化関連因子TSP-1との関連解析 第58回日本糖尿病学会年次学術集会 山口
国内学会	山陰一、村中和哉、小谷和彦、山田努、荒木里香、大石まり子、岡嶋泰一郎、島津章、浅原哲子 国立病院機構多施設共同肥満症コホートにおける5年間の心血管アウトカムと心腎連関進展予知指標の検討 第58回日本糖尿病学会年次学術集会 山口
国内学会	松尾禎之、田中将志、佐々木洋介、山陰一、村中和哉、猪飼伊和夫、畑啓昭、島津章、井上真由美、全泰和、浅原哲子 肥満における内臓・皮下脂肪蓄積と線維化関連因子TSP-1との関連解析 第88回日本内分泌学術総会 東京
国内学会	浅原哲子、田中将志、松尾禎之、村中和哉、山陰一、島津章 インクレチン関連薬によるオートファジー誘導による抗動脈硬化作用-マクロファージの泡沫化抑制- 第88回日本内分泌学術総会 東京
国内学会	田中将志、松尾禎之、佐々木洋介、山陰一、村中和哉、塚原徹也、島津章、浅原哲子 糖尿病・肥満における頸動脈プラーク浸潤マクロファージと末梢血単球のM1/M2形質の連関 第88回日本内分泌学術総会 東京
研究会	小島真司、村中和哉、田中将志、増田慎也、山陰一、浅原哲子、河野茂夫、島津章 抗精神病薬の変更によって著明な減量および糖・脂質代謝の改善を認めた肥満症の一例 第23回西日本肥満研究会 福岡
教育講演	河野茂夫 糖尿病フットケア 滋賀成人病センター糖尿病患者会 滋賀県守山市
国際学会	Shigeo Kono Workshop:WS14 Treatment of foot infection and osteomyelitis in low resource countries 7th International Symposium on the Diabetic Foot Hauge, Netherlands
教育講演	河野茂夫 糖尿病フットケアのトピックスと実際 第6回岡山フットケア研究会 岡山県岡山市

教育講演	河野茂夫 糖尿病フットケア-足は健康の源- 静岡県糖尿病協会講演会 静岡県静岡市
教育講演	河野茂夫 糖尿病とフットケア-国際ガイドライン2015から- 信州糖尿病研究会 長野県松本市
国内学会	河野茂夫 教育講演糖尿病フットケア 日本糖尿病療養指導学会 京都府京都市
研究会	河野茂夫 教育講演5糖尿病フットケア 第52回日本糖尿病学会近畿地方会 京都府京都市
教育講演	河野茂夫 糖尿病足病変治療のトピックスとコメディカルに求めるフットケアのポイント 第9回糖尿病ケアスキルアップセミナー 京都府京都市
教育講演	河野茂夫 糖尿病足病変診療の実際-国際ガイドライン2015のトピックス- 第13回安佐DMカンファレンス 広島県広島市
教育講演	河野茂夫 糖尿病足病変診療のトピックスと展望 第10回糖尿病臨床フォーラム 大阪府大阪市
国内学会	藤本容子, 山本利恵, 松岡幸代, 岡嶋昭, 岸純一郎, 村田敬, 坂根直樹, 山田和範 SMBG解析ソフトを用いた1型糖尿病患者の血糖変動評価:シミュレーション機能を利用した自己管理指導: 第58回日本糖尿病学会 下関
研究会発表	藤本容子, 山本利恵, 松岡幸代, 岡嶋昭, 村田敬, 坂根直樹, 山田和範 SMBG解析ソフトを用いた1型糖尿病患者の血糖変動評価:シミュレーション機能を利用した自己管理指導: 第6回近畿糖尿病教育フォーラム 京都リサーチパーク
国際学会	T. Murata, Y. Kawaguchi, S. Yamaji, R. Yamamoto, K. Uenomachi, A. Kokubo, F. Yoshioka, H. Okada, T. Watanabe, Y. Mizutani, K. Yomaida, J. Kishi, S. Odori, R. Nakagawachi, N. Satoh-Asahara, K. Yamada, N. Sakane MORTALITY RATE OF PATIENTS WITH TYPE 1 DIABETES MELLITUS USING CONTINUOUS SUBCUTANEOUS INSULIN INFUSION OR MULTIPLE DAILY INJECTIONS IN JAPAN 7th International Conference on Advanced Technologies & Treatment for Diabetes Milan (Italy)
国内学会	村田敬 CSIIの実際 第58回日本糖尿病学会学年次学術集会 下関
研究会	村田敬 開会の辞 第15回日本先進糖尿病治療研究会 京都
研究会	村田敬, 渡邊知一, 水谷結香子, 河口八重子, 山本利恵, 岸純一郎, 中川内玲子, 岡田浩, 小鳥真司, 中川内玲子, 浅原哲子, 河野茂夫, 吉岡二三, 坂根直樹, 山田和範 SAPのトランスミッタ固定に難渋した1型糖尿病の1例 第52回日本糖尿病学会近畿地方会 京都
研究会	村田敬, 渡邊知一, 水谷結香子, 河口八重子, 山本利恵, 岸純一郎, 中川内玲子, 吉岡ふみ, 坂根直樹, 山田和範 当院におけるセンサー付きインスリンポンプ(SAP)集団指導の経験 第15回日本先進糖尿病治療研究会 京都
研究会	渡邊知一, 村田敬, 河口八重子, 山本利恵, 吉岡ふみ, 岸純一郎, 水谷結香子, 坂根直樹, 山田和範 センサー付インスリンポンプ(SAP)を導入した腹膜透析中の糖尿病患者の1例第15回日本先進糖尿病治療研究会 京都
研究会発表	村田敬『聴く力』があなたを変える 第22回鳥取県東中部糖尿病セミナー 鳥取
研究会発表	村田敬 CGMの実際 点から線へ 第8回淀川リバーサイズ糖尿病カンファレンス 大阪
研究会発表	村田敬 1型糖尿病の最新治療 彦根市立病院 小児1型糖尿病に関する講演会 彦根
研究会発表	村田敬 3CにもとづくBasal-Bolus調節 第4回阪大1型糖尿病塾 大阪
研究会発表	村田敬 高齢1型糖尿病患者のインスリン療法 第12回京都医療センター1型糖尿病セミナー 京都
研究会発表	Takashi Murata Current situation of device therapy for diabetes in Japan Kyoto Medical Center Diabetes Technology Meeting 京都
教育講演	村田敬 センサー付きポンプについて 京都つばみの会 保護者教室 野洲
教育講演	村田敬 ベーサル調節のコツ 第7回CSII ユーザーズミーティング 名古屋
教育講演	村田敬 -患者さんに伝えたいこと、患者さんから学んだこと- 第18回YOKOHAMA VOX 横浜
国際学会	Reiko Nakagawachi, Yuki Izumi, Shigeo Kono Evaluation health-related quality of life (QOL) and depression in patients with diabetic foot lesion in Japan 7th International symposium on the diabetic foot The Netherlands
研究会	岡田浩 薬局薬剤師による糖尿病患者支援は有効なのか? 第23回内分泌糖尿病心理行動研究会 大阪
研究会発表	高橋かおる ミニレクチャー「検査結果が出るまで」楽しくてためになる健康教育の実践セミナー2015 京都
国内学会	鋤納心, 小谷和彦, 津崎こころ, 河口八重子, 高橋かおる, 江川香, 吉村麻紀子, 北川義徳, 柴田浩志, 坂根直樹 肥満女性における終末糖化産物(AGEs)と食事要因の検討 第58回日本糖尿病学会学術集会 山口
国内学会	津崎こころ, 小谷和彦, 佐野喜子, 藤原真治, 坂根直樹 過体重・肥満におけるHOMA-AD指数と高感度CRPとの関連:徳島県美馬研究から 第58回日本糖尿病学会学術集会 山口
国内学会	Naoki Sakane. Diabetes prevention in the real world: insights from the JDPP and J-DOIT1 第58回日本糖尿病学会学術集会 山口
国内学会	岡田浩, 中川康司, 恩田光子, 庄司雅紀, 坂根直樹 薬局薬剤師による高血圧患者への生活習慣改善支援効果: COMPASS-BP試験のスタディデザイン 第58回日本糖尿病学会学術集会 山口
国内学会	高橋かおる, 小谷和彦, 坂根直樹 非糖尿病男性におけるたんぱく尿を陽性化もしくは陰性化させる因子の検討 (ポスター発表) 第58回日本糖尿病学会学術集会 山口
国際学会	Hiroshi Okada. Support of patients with chronic disease by community pharmacies: developing pharmacy practice, COMPASS Project The 2nd Kyoto-Bordeaux Symposium 2015 Kyoto, Japan
教育講演	津崎こころ 時間栄養学が導く“早ね・早起き・朝ごはん” 平成27年度南丹地区食育・学校給食研究協議会 京都
教育講演	津崎こころ 時間栄養学が導くめざましごはん“朝食” ミッション・SSS「スーパーレッスン 食育講演会」 京都
国際学会	Kokoro Tsuzaki, Kazuhiko Kotani, Yasuki Ito, Naoki Sakane. Correlation between subfractional high-density lipoprotein cholesterol levels and obesity traits: an electrophoretic method and a homogeneous assay method American Association for Clinical Chemistry Annual meeting Atlanta, USA
TV・ラジオ出演	坂根直樹 今日の健康 運動量を増やす秘策
教育講演	坂根直樹 内臓脂肪に着目した保健指導ならびにポピュレーションアプローチ -内臓脂肪になりにくい食事- 日本脂質栄養学会第24回大会 佐賀
国内学会	鋤納心, 津崎こころ, 河口八重子, 岡田浩, 高橋かおる, 小谷和彦, 坂根直樹 男性肥満者に対する血糖自己測定(SMBG)とFacebookを用いた減量プログラムに関する研究:実行可能性試験 第15回日本糖尿病情報学会学術集会 東京

国際学会	Yaeko Kawaguchi, Junichiro Somei, Takuya Kawamoto, Yoshikazu Yonei, Naoki Sakane Dietary diversity and skin autofluorescence in community-dwelling older adults : A cross-sectional study 9th Glycation Stress Research Meeting Kyoto, Japan
国内学会	宮崎亮, 石井好二郎, 綾部誠也, 三輪佳行, 吉川敏一, 森脇久隆, 長谷川力, 平石貴補, 鳥居和久, 米井 嘉一 10-20歳代男女2000名における骨格筋量の1年刻み変化 第70回日本体力医学会大会 和歌山
国内学会	岡田浩, Denise Epp, 坂根直樹 5か国における薬局薬剤師による糖尿病マネジメントのパイロット調査 第4回日本くすりと糖尿病学会 新潟
国内学会	二連木晋輔, 本間俊行, 米代武司, 井上尚彦, 佐藤齊, 津崎こころ, 齊藤昌之, 坂根 直樹, 浜岡隆文 長期カブシエイト類摂取および摂取終了後のヒト褐色脂肪組織の変化 第36回日本肥満学会 名古屋
教育講演	松井浩 骨を強くする運動の実際～認知症にも糖尿病にも効果的～ 世界骨粗鬆症デー 市民公開講座 東京
研究会発表	高橋かおる 糖尿病の検査について 公益財団法人兵庫県予防医学協会シンポジウム 神戸
国内学会	津崎こころ, 小谷和彦, 伊藤康樹, 山田俊幸 非変性ポリアクリルアミドゲル電気泳動法ならびに直接法におけるHDL亜分画コレステロール値の相関性 第55回日本臨床化学会年次学術集会 大阪
研究会発表	二連木晋輔, 本間俊行, 黒澤裕子, 坂根直樹, 浜岡隆文 近赤外線時間分解分光法 (NIRTRS)による褐色脂肪組織密度の評価法 第22回医用近赤研究会 東京
研究会発表	黒澤裕子, 二連木晋輔, 永井優也, 本間俊行, 浜岡隆文 長時間座位姿勢保持の生理学的反応および弾性タイツ着用の影響 第22回医用近赤研究会 東京
研究会発表	後藤 昌弘, 二連木 晋輔, 長野 明紀, 浜岡 隆文 レジスタンストレーニングに用いる運動関節可動域及び角速度の違いが上腕三頭筋の筋活動及び筋内酸素代謝に及ぼす急性効果 第22回医用近赤研究会 東京
国内学会	河口 八重子 シンポジウム センサー付きインスリンポンプ療法を成功させるために 第15回日本先進糖尿病治療研究会 京都
教育講演	松井 浩 血糖コントロール+αな運動療法 市民公開講座 埼玉
教育講演	松井 浩 やる気になればカラダは変わる!～糖と脂肪が減る運動～ 糖尿病県民公開講座 岡山
教育講演	松井 浩 60代からの健康づくり 市民公開講座 兵庫
国際学会	Hiroshi Okada Support of Patients with Chronic Disease by Community Pharmacies: Developing Pharmacy Practice, COMPASS Project 3rd Annual Pharmacist Networking Event Vancouver, Canada
国際学会	Naoki Sakane, Kazuhiko Kotani, Kaoru Takahashi, Yoshiko Sano, Kokoro Tsuzaki, Kentaro Okazaki, Juichi Sato, Sadao Suzuki, Satoshi Morita, Yoshitake Oshima, Kazuo Izumi, Masayuki Kato, Naoki Ishizuka, Mitsuko Noda, Hideshi Kuzuya. Prevention of metabolic syndrome and components in subjects with impaired fasting glucose by telephone-delivered lifestyle intervention using self-help devices The 9th International Conference on Advanced Technologies & Treatments for Diabetes Milan, Italy
教育講演	津崎こころ 「何を食べる?」から「いつ食べる」へ 一時間栄養学のススメ ～体と頭に効く朝ご飯とは?～ 第5回箕面食育フェア 箕面
国内学会	宮崎亮, 綾部誠也, 吉武裕, 宮崎秀夫 88歳高齢者126名における, 朝型夜型パターンを中心とした生活リズムの実態調査 第17回日本健康支援学会年次学術大会 愛知
教育講演	二連木晋輔 健康増進を目的とした食への可能性 経済学会セミナー 京都
国内学会	松岡幸代, 山田和範 2型糖尿病外来における炭水化物に着目した食事療法 第58回日本糖尿病学会年次学術集会 山口
研究会	松岡幸代, 山本利恵, 藤本容子, 浅野照子, 山田和範 1型糖尿病における自己管理・治療に対するQOL調査の紹介 第6回近畿糖尿病教育フォーラム 京都
教育講演	松岡幸代 動脈硬化性シツツ判予防ガイドライン2012年版に基づいた脂質異常症に対する食事療法のポイント 平成27年 和歌山県御坊保健所管内保健研修会 和歌山(御坊市)
教育講演	松岡幸代 ステージに合わせた効果的な保健指導のすすめ方～食行動変容への戦略～ 平成27年度鳥取県保険者協議会 特定健診・保健指導従事者研修会 鳥取
教育講演	松岡幸代 「行動変容につなげる効果的な食生活支援」～炭水化物に着目した糖尿病食事指導のポイント～ 平成27年度大阪府保険者協議会 特定健診・特定保健指導研修会 大阪
国内学会	松岡幸代 山本利恵 藤本容子 山田和範 2年間療養指導を継続し「待つこと」の難しさを経験した1型糖尿病20代前半女性の1例 第2回糖尿病医療学研究会 京都

## □ 投稿論文など

著書・雑誌名	内容
Journal of Atherosclerosis and Thrombosis	Tanaka M, Masuda S, Matsuo Y, Sasaki Y, Yamakage H, Muranaka K, Wada H, Hasegawa K, Tsukahara T, Shimatsu A, Satoh-Asahara N. Hyperglycemia and Inflammatory Property of Circulating Monocytes are Associated with Inflammatory Property of Carotid Plaques in Patients Undergoing Carotid Endarterectomy. In Press
PLoS ONE	Ido A, Nakayama Y, Ishii K, Iemitsu M, Sato K, Fujimoto M, Kurihara T, Hamaoka T, Satoh-Asahara N, Sanada K. Ultrasound-Derived Abdominal Muscle Thickness Better Detects Metabolic Syndrome Risk in Obese Patients than Skeletal Muscle Index Measured by Dual-Energy X-Ray Absorptiometry. Vol.10 No.12 e0143858,2015.12
Endocrine Journal	Hashimoto K, Tagami T, Yamakage H, Muranaka K, Tanaka M, Odori S, Kono S, Shimatsu A, Ogawa Y, Satoh-Asahara N. Serum free thyroxine levels is associated with the efficacy of weight reduction therapy in obese female patients. Vol.63 No.3 221-229,2015.12
Metabolism	Tanaka M, Matsuo Y, Yamakage H, Masuda S, Terada Y, Muranaka K, Wada H, Hasegawa K, Shimatsu A, Satoh-Asahara N. Differential effects of GLP-1 receptor agonist on foam cell formation in monocytes between Non-obese and obese subjects. Vol.65 No.2 1-11,2015.10

Biol Pharm Bull	Morimoto T, Katanasaka Y, Sunagawa Y, Hirano S, Miyazaki Y, Funamoto M, Hojo Y, Suzuki H, Morimoto E, Ueno M, Shimatsu A, Satoh-Asahara N, Yamakage H, Wada H, Hasegawa K. Effects of statins on left ventricular diastolic function in patients with dyslipidemia and diastolic dysfunction (stat-LVDF study). Vol.38 No.9 1404-1409,2015.5
BMC family Practice	Ito H, Sato T, Satoh-Asahara N, Noda M. Impact of medication adherence on renal function in comorbid patients with type2 diabetes and depression: protocol for a cohort study. Vol.15 No.16 124,2015.9
Atherosclerosis	Satoh-Asahara N, Kotani K, Yamakage H, Yamada T, Araki R, Okajima T, Adachi M, Ooishi M, Shimatsu A. Cardio-Ankle Vascular Index Predicts for the Incidence of Cardiovascular Events in Obese Patients: A multicenter prospective cohort study (Japan Obesity and Metabolic Syndrome Study: JOMS). Vol.242 No.2 461-468,2015.8
Cardiovascular Diabetology	Kotani K, Satoh-Asahara N, Nakakuki T, Yamakage H, Shimatsu A, Tsukahara T. Association between metabolic syndrome and multiple lesions of intracranial atherothrombotic stroke: a hospital-based study. Vol.14 No.108,2015.8
Metabolism	Matsuo Y, Tanaka M, Yamakage H, Sasaki Y, Muranaka K, Hata H, Ikai I, Shimatsu A, Inoue M, Chun T-H, Satoh-Asahara N. Thrombospondin 1 as a novel biological marker of obesity and metabolic syndrome. Vol.64 No.11 1490-1499,2015.7
京都医療センターメタボ外来のやせるお弁当と作りおき	独立行政法人国立病院機構京都医療センター 京都医療センター メタボ外来のやせるお弁当と作りおき 2016.2
medicina	浅原哲子 内科診断の道しるべ その症候、どう診るどう考える Vol.53 No.4 22-27,2016.4
医学のあゆみ	浅原哲子、田中将志 【最新の解析技術】22.ヒトの単球あるいはマクロファージの解析:脂肪組織慢性炎症とリポドミクス Vol.257 No.6
	浅原哲子 最新エビデンスに学ぶ効果の上がる肥満症食事療法の実践 2.肥満に起因する各種疾患の診療 Vol.127 No.44 12-416,2015.9
The Lipid	浅原哲子 特集:日本人肥満メタボ型糖尿病の実相、病態、治療 III.肥満2型糖尿病の治療とその新展開 2.食事療法 Vol.26 No.2 57-64,2015.4
内分泌・代謝内科ゴールデンハンドブック	浅原哲子 G.糖尿病および代謝疾患 インスリン療法 30-32,2015.12
内分泌・代謝内科ゴールデンハンドブック	浅原哲子G.糖尿病および代謝疾患 GLP-1受容体作動薬 34-37,2015.12
内分泌・代謝内科ゴールデンハンドブック	浅原哲子 G.糖尿病および代謝疾患 肥満症・メタボリックシンドローム 46-51,2015.12
内分泌・代謝内科ゴールデンハンドブック	小鳥真司、浅原哲子 G.糖尿病および代謝疾患 2.インスリン分泌調節と作用 316-317,2015.12
内分泌・代謝内科ゴールデンハンドブック	小鳥真司、浅原哲子G.糖尿病および代謝疾患 6.経口血糖降下薬 333-337,2015.12
内分泌・代謝内科ゴールデンハンドブック	小鳥真司、浅原哲子 G.糖尿病および代謝疾患 9.糖尿病の合併症344-349,2015.12
Islet Equality	河野茂夫 2型糖尿病 世界と日本の概況 第12回 Diabetic Foot Vol.4 No.1 2-3,2015.4.20
糖尿病学	河野茂夫 糖尿病足病変の成因・病態 514-521,2015.5.15
ストップ!糖尿病・腎臓病 まるごと合併症	河野茂夫 第3章 糖尿病と足病変 フットケアで足を守ろう Vol.154 増刊号13巻6号 30-32,2015.5.8
臨床透析 6月増刊号 PAD-フットケアを救肢・救命に繋げるために必要な知識	河野茂夫 第4章 フットケアのあり方 (1)フットケアをより効率的に行うために-糖尿病足病変、PADを中心に Vol.31 No.7 55-63,2015.6.20
最新医学 7月増刊号 糖尿病と合併症 (後編) 糖尿病合併症	河野茂夫 ●細小血管障害と大血管障害 糖尿病足病変 Vol.70 7月増刊号 152(1464)-159(1471),2015.7.25
内分泌・糖尿病・代謝内科	河野茂夫 糖尿病足病変の疫学,世界の現状 Vol.41 No.2 97-101,2015.8.28
Cardio-Renal Diabetes 糖尿病と循環器・腎臓の融合を目指す学術誌	稲垣暢也、河野茂夫、重松邦広、横井宏佳 Discussion 座談会 糖尿病の足病変 Vol.4 No.3 8-17,2015.9.10
Diabetes/Metabolism Research and Reviews	Benjamin A. Lipsky, Javier Aragón-Sánchez, Mathew Diggle, John Embil, Shigeo Kono, Lawrence Lavery, Éric Senneville, Vilma Urbančič-Rovan, Suzanne Van Asten and Edgar J. G. Peters, on behalf of the International Working Group on the Diabetic Foot (IWGDF) IWGDF guidance on the diagnosis, prognosis and management of peripheral artery disease in patients with foot ulcers in diabetes Vol.32 45-74,2016.1.26
Diabetes/Metabolism Research and Reviews	E. J. Peters, B. A. Lipsky, J. Aragón-Sánchez, E. J. Boyko, M. Diggle, J. M. Embil, S. Kono, L. A. Lavery, E. Senneville, V. Urbančič-Rovan, S. A. Van Asten, W. J. Jeffcoate and on behalf of the International Working Group on the Diabetic Foot (IWGDF) Interventions in the management of infection in the foot in diabetes: a systematic review Vol.32 145-153,2016.1.26
糖尿病 最新の治療 2016-2018	河野茂夫 XV 糖尿病療養指導6.予防的フットケア 300-302,2016.2.10
Diabetes Frontier	河野茂夫 糖尿病足病変 ~総説~ Vol.27 No.1 13-18,2016.2.25
J Diabetes Investig.	Murata T, Tsuzaki K, Yoshioka F, Okada H, Kishi J, Yamada K, Sakane N. The relationship between the frequency of self-monitoring of blood glucose and glycemic control in patients with type 1 diabetes mellitus on continuous subcutaneous insulin infusion or on multiple daily injections. Vol.6 No.6 687-91,2015.11
インスリンポンプとCGM 糖尿病をうまく管理するためのガイド	村田敬 訳者あとがき 2015.5
内分泌代謝専門医のセルフスタディ230	村田敬 2015.12.
最新インスリン療法 (改訂第2版)	村田敬 インスリンポンプの種類と指導方法 256-264,2015.6
こんな時どうすれば!? 糖尿病・血糖管理コンサルタント	村田敬 コンサルト [14] 脳卒中かと思ったら、実は高血糖高浸透圧症候群! [HHS & DKA], コンサルト [21] SU薬服薬患者が抗GAF抗体陽性! どうする?, コンサルト [29] 腰部脊柱管狭窄症と診断されました! でも、血糖コントロールが悪くてしばらく手術できないと言われました!、コンサルト [30] 先生! 私妊娠しました! [妊婦の当代謝異常と血糖管理] 188-194, 224-227, 274-285,2015.8



はじめてのカーボカウント (3版)	村田敬 15 インスリンポンプを使っている人でも使えるの? 36-39,2016.2
日本先進糖尿病治療研究会雑誌	村田敬、河口八重子、吉岡ふみ、岡田浩、山本利恵、渡邊知一、岸純一郎、中川内玲子、水谷結香子、四枚田耕平、坂根直樹、山田和範 CSII導入初期における持続型インスリンまたは中間型インスリン併用の短期的な安全性と有効性の検討 Vol.11 22-26,2015.11
診断と治療	村田敬 重症低血糖時のグルカゴン注射 Vol.103 No.9 1147-1150,2015.9
medicina	村田敬 頻回注射法(MDI)と持続皮下インスリン注入療法(CSII)の利点・欠点 Vol.53 No.1 106-108,2016.1
日本糖尿病情報学会誌	藤原真治, 小谷和彦, 津崎こころ, 佐野喜子, 坂根直樹 「食前に団子を食べる」という地域の食習慣が心血管リスクに及ぼす影響:美馬研究より. Vol.13 No.1 4-11,2015.4
日本糖尿病情報学会誌	藤原真治, 小谷和彦, 津崎こころ, 佐野喜子, 岡田浩, 大林秀樹, 瀬川正昭, 坂根直樹 医療機関と調剤薬局が連携したHbA1c認識向上への取り組み:研究デザインとベースラインの主な結果. Vol.13 No.1 22-30,2015.4
PLoS One	Yamaguchi M, Kotani K, Tsuzaki K, Takagi A, Motokubota N, Komai N, Sakane N, Moritani T, Nagai N. Circadian rhythm genes CLOCK and PER3 polymorphisms and morning gastric motility in humans. Vol.10 No.3 e012009,2015.5
Minerva Endocrinologica	Miyazaki R, Kotani K. Pedometer- and accelerometer-based exercise in subjects with diabetes mellitus Vol.40 No.2 145-154,2015.5
BMJ Open	Sakane N, Kotani K, Takahashi K, Sano Y, Tsuzaki K, Okazaki K, Sato J, Suzuki S, Morita S, Oshima Y, Izumi K, Kato M, Ishizuka N, Noda M, Kuzuya H. Effects of telephone-delivered lifestyle support on the development of diabetes in participants at high risk of type 2 diabetes: J-DOIT1, a pragmatic cluster randomised trial. Vol.5 No.8 e007316,2015.8
J Clin Lab Anal	Tsuzaki K, Kotani K, Yamada K, Sakane N. Fasting Lipoprotein Lipase Protein Levels Can Predict a Postmeal Increment of Triglyceride Levels in Fasting Normohypertriglyceridemic Subjects. In press,2015.8
Nutr Res Pract	Kitaoka K, Kitade A, Nagaoka J, Tsuzaki K, Harada K, Aoi W, Wada S, Asano H, Sakane N, Higashi A. Lifestyle intervention might easily improve blood pressure in hypertensive men with the C genotype of angiotensin II type 2 receptor gene. Vol.9 No.4 385-392,2015.9
健康支援	宮崎亮, 米井嘉一, 綾部誠也, 青木拓巳, 河口八重子, 桑原健輔, 石井好二郎 42ヶ月間の身体活動量増進プログラム期間における中高齢者男女の歩数推移 Vol.17 No.2 41-49,2015.9
糖尿病ケア	津崎こころ Dr.坂根厳選! 糖尿病患者指導のアイデアグッズ50 「Lipocoさんへ食べた脂のゆくえは〜」 秋季増刊号 230-233,2015.9
J Diabetes Investig.	Sakane N, Kotani K, Tsuzaki K, Nishi M, Takahashi K, Murata T, Yamada K, Okazaki K, Yanagisawa K, Yamada K, Kuribayashi N, Totsuka Y, Hiyoshi T, Naka M, Sugimoto M, Aoki Y, Waki M, Furuya M, Kitaoka H, Oishi M, Shimizu I, Miyaoka H, Okada A, Yamamoto T. Fear of hypoglycemia and its determinants in insulin-treated patients with type 2 diabetes mellitus. Vol.6 No.5 567-570,2015.9
症状と患者背景にあわせた頻用薬の使い分け 改訂版	藤原真治 鎮咳薬 184-201,2015.10
症状と患者背景にあわせた頻用薬の使い分け 改訂版	藤原真治 去痰薬 202-207,2015.10
Value Health	Shoji M, Okada H, Onda M, Sakane N, Nakayama T. Effect Of Intervention By Community Pharmacists On Awareness Of Continuing Treatment Among Patients With Hypertension. Vol.18 No.7 A399,2015.11
Nutrition Care	津崎こころ 12.コレステロール Vol.9 No.1 32-33,2015.12
Nutrition Care	津崎こころ 13.HDLコレステロール Vol.9 No.1 34-35,2015.12
Nutrition Care	津崎こころ 15.酸化コレステロール Vol.9 No.1 38-39,2015.12
Nutrition Care	津崎こころ 連載「なに食べる」から「いつ食べる」へ時間栄養学 第1回 時間栄養学とは Vol.9 No.1 58-59,2015.12
Advances in Experimental Medicine and Biology	Nirengi S, Yoneshiro T, Saiki T, Aita S, Matsushita M, Sugie H, Saito M, Hamaoka T. Evaluation of Brown Adipose Tissue Using Near-Infrared Time-Resolved Spectroscopy. Vol.876 371-376,2016.1
Nutrition Care	河口八重子 ナゾ解き生化学おもしろ講座 イラストでわかる脂質・脂肪酸・コレステロールのはたらき(n-6系多価不飽和脂肪酸、n-3系多価不飽和脂肪酸、中鎖脂肪酸) Vol.9 No.1 24-29,2016.1
ニュートリションケア (通巻92号)	鋤納 心 6.飽和脂肪酸 7.不飽和脂肪酸 Vol.9 No.1 20-23,2016.1
日本糖尿病情報学会誌 (JJADI)	鋤納心, 小谷和彦, 津崎こころ, 河口八重子, 岡田浩, 高橋かおる, 坂根直樹 Facebookを用いた体重管理プログラムの開発:実行可能性試験 Vol.14 4-10,2016.1
NutritionCare	高橋かおる nonHDLコレステロール Vol.9 No.1 36-37 2016.1
NutritionCare	高橋かおる 中性脂肪 Vol.9 No.1 40-41,2016.1
Nutrition Care	津崎こころ 連載「なに食べる」から「いつ食べる」へ時間栄養学 第2回 からだがリズムをきぎむこと:体内時計 Vol.9 No.2 82-83,2016.1
Nutrition Care	津崎こころ 連載「なに食べる」から「いつ食べる」へ時間栄養学 第3回 リズムを生みだす時計遺伝子 Vol.9 No.3 60-61,2016.2
Endocrine Practice	Nirengi S, Fujibayashi M, Tsuzaki K, Furuno S, Uchibe A, Kawase Y, Kotani K, Sakane N. ACTN3 GENE R577X POLYMORPHISM ASSOCIATED WITH HIGH-DENSITY LIPOPROTEIN CHOLESTEROL AND ADIPONECTIN IN RUGBY PLAYERS. in press,2016.2
Osuteoporosisu Japan PLUS	松井浩 ウォーキング+筋トレで骨と筋肉を強くする〜認知症や糖尿病予防にも効果的!〜 Vol.1 創刊号130~31,2016.2.17
Pharmacology & Pharmacy	Okada H, Mitsuko O, Masaki S, Kazuhiko K, Takeo N, Yasushi N, Naoki S. Effects of Lifestyle Intervention Performed by Community Pharmacists on Glycemic Control in Patients with Type 2 Diabetes: The Community Pharmacists Assist (Compass) Project, a Pragmatic Cluster Randomized Trial. Vol.7 124-132,2016.3
Nutrition Care	津崎こころ 連載 「なに食べる」から「いつ食べる」へ時間栄養学 第4回 「早寝早起き朝ごはん」が生まれた理由 Vol.9 No.4 84-85,2016.3
Journal of Biomedical Optics	Nirengi S, Homma T, Inoue N, Sato H, Yoneshiro T, Matsushita M, Kameya T, Sugie H, Tsuzaki K, Saito M, Sakane N, Kurosawa Y, Hamaoka T. Assessment of human brown adipose tissue density during daily ingestion of thermogenic capsinoids using near-infrared time-resolved spectroscopy in press, 2016.3
「臨床栄養」臨時増刊(2015年 秋季発行)	松岡幸代 肥満症の食事療法各論「食生活(食べ方)と肥満に関する最新知見」 Vol.127 No.4 487-490,2015.9.25